



## 学校における新生活様式

副校長 後藤 京子

6月1日月曜日、昇降口には、教職員、子供たちの元気な挨拶が響き渡りました。分散登校ではありますが、教職員は、子供たちの登校を楽しみにしていました。

緊急事態宣言が解除され、「練馬区立学校（園）再開のガイドライン（新型コロナウイルス感染症）」に基づき、段階的に再開を行いました。第1段階では、1・2年生は午前2時間ずつ、3年生以上は午前、午後に分かれ、2時間ずつの登校です。どの学年も、久しぶりに会う友達と嬉しそうにしてはいるものの、各教室では、友達との関わりが少なく、担任教師の指導を静かに聞き入る子供たちが多く、緊張している様子でした。第1段階後半では、3年生以上は3時間ずつの学習になりました。臨時休業中の課題を基に振り返りながらの学習です。

第2段階では、全学年が4時間授業、そして給食が始まりました。給食は配膳に時間がかからず、栄養を損ねることなく、原則2品目のメニューとしました。給食当番は、手洗いはもちろんのこと、アルコールによる消毒もし、ビニール手袋をしての配膳です。各教室では、座席をグループにすることなく、全員が前を向いて、おしゃべりを一切せず、黙々と食べています。おかわりは、担任が盛り付けを行っています。

6月22日から、第三段階に入り、通常の学習となりました。3年生以上は6時間授業です。休み時間も、中休みだけでなく、昼休みも遊べるようになりました。ただ、各曜日とも、校庭での利用は2学年ずつとし、残りの学年は、室内で、静かに本を読んだり、友達と談笑したりして過ごしています。清掃活動は、第4週から始まりました。雑巾がけを行わず、ほうきでごみを集めたり、机の整頓を行ったり黒板をきれいにしたりなどしています。

学習では、専科や、体育も始まりました。音楽では、歌唱やリコーダーなどの器楽を行わず、理科や図工では、向かい合う机に透明のついたてを置き、飛散防止に努め、感染の予防を図っています。下校後は、担任、専科の教員は、児童机や机の消毒を行っています。

7月は、練馬区の方針を受け、31日（金）までが1学期となります。また、授業時数確保のため、土曜授業が2回となります。まだまだコロナウイルス問題が長期化する恐れがあります。学校では、学習内容の指導時数を確保しつつ、子供たちが楽しく意欲的に学べるような工夫をさらに行っていきます。また、子供たちの心のケアに努め、指導を行っていきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。